



2026年3月期 第3四半期決算短信〔IFRS〕(連結)

2026年2月10日

上場会社名 プレミアグループ株式会社 上場取引所 東
 コード番号 7199 U R L <https://www.premium-group.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 CEO (氏名) 柴田 洋一
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 執行役員 CFO (氏名) 金澤 友洋 T E L 03-5114-5701
 配当支払開始予定日 ー
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満四捨五入)

1. 2026年3月期第3四半期の連結業績 (2025年4月1日～2025年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		税引前利益		四半期利益		親会社の所有者に帰属する四半期利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第3四半期	31,366	14.4	5,662	△5.8	5,897	△2.5	4,065	△1.1	4,061	△1.2
2025年3月期第3四半期	27,429	19.4	6,009	36.3	6,048	35.8	4,112	28.0	4,111	28.3

	四半期包括利益合計額		基本的1株当たり四半期利益	希薄化後1株当たり四半期利益
	百万円	%	円 銭	円 銭
2026年3月期第3四半期	4,332	△0.1	105.52	105.22
2025年3月期第3四半期	4,335	30.5	108.39	107.46

(2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に帰属する持分	親会社所有者帰属持分比率
2026年3月期第3四半期	百万円 191,022	百万円 23,528	百万円 23,505	% 12.3
2025年3月期	184,988	18,948	18,923	10.2

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2025年3月期	円 銭 —	円 銭 20.00	円 銭 —	円 銭 20.00	円 銭 40.00
2026年3月期	—	27.00	—	27.00	54.00
2026年3月期(予想)				27.00	

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 無

3. 2026年3月期の連結業績予想 (2025年4月1日～2026年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		税引前利益		当期利益		親会社の所有者に帰属する当期利益	基本的1株当たり当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
通期	42,000	15.4	8,500	24.1	5,800	24.8	5,800	24.7
			~8,700	~27.0	~5,900	~26.9	~5,900	~26.8
								150.70
								~153.30

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無: 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① I F R Sにより要求される会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年3月期 3 Q	40,687,302株	2025年3月期	40,540,170株
② 期末自己株式数	2026年3月期 3 Q	1,660,434株	2025年3月期	2,509,334株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2026年3月期 3 Q	38,486,272株	2025年3月期 3 Q	37,929,622株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士または監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 決算に関する詳細情報は、本日公表の決算説明資料にて記載していますので、併せてご覧ください。
決算説明資料はこちらから <https://ir.premium-group.co.jp/ja/library/presentation.html>

2. 上記の業績予想は、本資料の発表日現在において、当社が入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	5
(2) 要約四半期連結損益計算書	6
(3) 要約四半期連結包括利益計算書	7
(4) 要約四半期連結持分変動計算書	8
(5) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(6) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(セグメント情報)	12
(重要な後発事象)	14

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間（2025年4月1日から2025年12月31日まで）におけるわが国経済は、国内では雇用・所得環境の改善やインバウンド需要の拡大を背景に緩やかな回復基調で推移しました。一方で、資源価格・原材料価格の上昇や米国の通商政策の影響に加え、ウクライナ・中東情勢などの地政学リスク、さらには金融資本市場の変動など、依然として先行き不透明な状況が続いております。このような経済環境下、当社グループの主要ターゲットである中古車市場におきましては、2025年4月から2025年12月までの普通乗用車及び小型乗用車、軽四輪乗用車を合算した国内の中古車登録台数は3,955,871台（前年同期比0.2%増）であり、前年を上回る結果となりました。（出典：一般社団法人日本自動車販売協会連合会統計データ、一般社団法人全国軽自動車協会連合会）

当社グループは、法改正を含む外部経営環境の変化に応じたコンプライアンスの徹底を前提として、「世界中の人々に最高のファイナンスとサービスを提供し、豊かな社会を築き上げることに貢献します」「常に前向きに、一生懸命プロセスを積み上げることのできる、心豊かな人財を育成します」というミッションの実現を目指し、主要取引先である自動車販売店や自動車整備工場に対して、クレジット、故障保証に加え、「クルマ」に関する様々な工程においてお役立て頂けるオートモビリティサービスを複合的に提供することで取引接点を拡大し、業容・収益の成長を加速させるとともに、新たな成長モデルの実現に向けた様々な取組みに挑戦しております。

当第3四半期連結累計期間における状況は次のとおりであります。なお、セグメント別の営業収益については、セグメント間収益を除く外部収益を表記しております。

ファイナンス事業は、当第2四半期に実施した旧システムへの切り戻しに伴う短期的な新規受付の停止や債権回収業務の優先対応、並びに利上げによる影響が当第3四半期においても継続したことにより、一時的に取扱高の成長が鈍化しました。一方で、これまでに実施してきたカープレミアクラブ会員化による顧客の囲い込みや、バックオフィス人員増強によるサポート体制の改善が功を奏し、クレジット取扱高は前年を若干上回る実績となり、営業収益は17,733百万円（前年同期比14.7%増）、営業利益は3,164百万円（前年同期比27.0%減）となりました。

故障保証事業は、積極的なカープレミアクラブ会員化及びOEM先の商品設定の見直しが奏功した結果、故障保証取扱高についても引き続き前年を上回る実績となり、営業収益は5,904百万円（前年同期比14.2%増）となりました。また、利益率の高いプロパー保証の伸長等による継続的な原価低減施策を講じることにより、営業利益は978百万円（前年同期比27.4%増）となりました。

オートモビリティサービス事業は、カープレミアクラブ及びサブスク（リース）の好調な進捗と営業費用の抑制が奏功した結果、営業収益は7,577百万円（前年同期比11.7%増）、営業利益は1,387百万円（前年同期比49.5%増）となりました。

営業費用は、故障保証事業における原価低減等による経費削減施策が継続して奏功したものとの、システム対応費用等が増加した結果、25,705百万円（前年同期比20.0%増）となりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の営業収益は31,366百万円（前年同期比14.4%増）、営業利益は5,662百万円（前年同期比5.8%減）、税引前四半期利益は5,897百万円（前年同期比2.5%減）、親会社の所有者に帰属する四半期利益は4,061百万円（前年同期比1.2%減）となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

①資産、負債及び資本の状況

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べ6,034百万円増加し、191,022百万円となりました。これは主に、現金及び現金同等物が11,845百万円、金融債権が6,038百万円増加し、その他の資産が7,775百万円、保険資産が5,808百万円減少したこと等によるものであります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べ1,455百万円増加し、167,494百万円となりました。これは主に、借入金が29,457百万円増加し、金融保証契約が23,086百万円、その他の金融負債が4,961百万円減少したこと等によるものです。

(資本)

当第3四半期連結会計期間末における資本合計は、前連結会計年度末に比べ4,579百万円増加し、23,528百万円となりました。これは主に、利益剰余金が2,246百万円増加したこと等によるものです。親会社の所有者に帰属する持分合計は前連結会計年度末に比べ4,582百万円増加し、23,505百万円となりました。

②キャッシュ・フローの概況

当第3四半期連結累計期間のキャッシュ・フローは、営業活動による支出16,181百万円（前年同期は1,308百万円の支出）、投資活動による支出803百万円（前年同期は1,495百万円の支出）及び財務活動による収入28,808百万円（前年同期は212百万円の支出）でした。この結果、当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は28,991百万円となりました。

当第3四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は以下のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フローの状況)

当第3四半期連結累計期間における営業活動の結果、使用した資金は16,181百万円となりました。収入の主な内訳は、その他の資産の減少額13,660百万円、税引前四半期利益5,897百万円であり、支出の主な内訳は、金融保証契約の減少額23,086百万円、金融債権の増加額6,038百万円、その他の金融負債の減少額4,402百万円であります。

(投資活動によるキャッシュ・フローの状況)

当第3四半期連結累計期間における投資活動の結果、使用した資金は803百万円となりました。収入の主な内訳は、有形固定資産の売却による収入345百万円であり、支出の主な内訳は、有形固定資産の取得による支出537百万円、無形資産の取得による支出397百万円、差入保証金の差入による支出160百万円であります。

(財務活動によるキャッシュ・フローの状況)

当第3四半期連結累計期間における財務活動の結果、獲得した資金は28,808百万円となりました。収入の主な内訳は、長期借入金の借入による収入43,494百万円、自己株式の処分による収入1,764百万円であり、支出の主な内訳は、長期借入金の返済による支出13,565百万円、短期借入金の返済による支出2,000百万円であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループは、当連結会計年度を最終年度とする中期経営計画において、オートモビリティ企業グループとしての強固な収益基盤の構築と持続的な成長を目指してまいりました。当第3四半期連結累計期間においては、主力のファイナンス事業及び故障保証事業が堅調に推移しており、営業収益については期首予想を維持できる見込みであります。

一方で、利益面につきましては、システム障害に伴う一過性の費用計上や営業活動への影響など、期首時点では見込んでいなかった事象が生じております。2025年5月15日公表の「2025年3月期 決算短信〔IFRS〕(連結)」の業績予想と今回の修正予想との税引前利益における差異につきましては、主にシステム障害に伴う対応費用の超過（300百万円）及び、その他、期首時点では想定できなかつた同障害に関連して発生した一時的な諸要因等（200百万円）によるものであります。

これらの要因による影響を精査した結果、税引前利益及び親会社の所有者に帰属する当期利益が前回公表予想を下回る可能性があると判断しております。現時点において、システム障害からのリカバリー施策による挽回ペースやその他の不確定要素を合理的に算定することが困難であるため、通期の連結業績予想を以下のとおりレンジ形式により修正しております。（修正後の通期連結業績予想：営業収益42,000百万円、税引前利益8,500百万円～8,700百万円、当期利益5,800百万円～5,900百万円、親会社の所有者に帰属する当期利益5,800百万円～5,900百万円、基本的1株当たり当期利益150.70円～153.30円）

詳細につきましては、本日公表いたしました「2026年3月期 第3四半期決算説明資料」をご覧ください。

なお、連結業績予想につきましては、現時点において当社が入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

また、当社グループは株主様への利益還元を経営の最重要課題の一つと位置付けております。今般の業績予想の修正を真摯に受け止めつつも、将来の成長に対する自信と資本効率の向上を背景として、本日公表の「自己株式取得に係る事項の決定に関するお知らせ」の通り、10億円を上限とする自己株式の取得を決定しております。これにより、当期の総還元性向は50%を超える見込みとなります。今後の方針といいたしましては、強固な財務基盤と安定的な自己資本比率を維持しつつ、配当、自己株式の取得等、機動的かつ継続的な株主還元を実施してまいります。

2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
資産の部		
現金及び現金同等物	17,159	29,004
金融債権	74,719	80,757
その他の金融資産	8,366	9,862
有形固定資産	5,396	4,895
無形資産	9,201	8,959
のれん	3,958	3,958
持分法投資	4,085	4,734
繰延税金資産	50	382
保険資産	42,130	36,323
その他の資産	19,924	12,149
資産合計	184,988	191,022
負債の部		
金融保証契約	81,245	58,159
故障保証前受収益	8,055	9,027
借入金	51,188	80,645
その他の金融負債	16,686	11,725
引当金	436	466
未払法人所得税	1,821	817
繰延税金負債	836	1,200
その他の負債	5,773	5,457
負債合計	166,039	167,494
資本の部		
親会社の所有者に帰属する持分		
資本金	1,700	1,801
資本剰余金	1,585	2,547
利益剰余金	17,949	20,196
自己株式	△3,046	△2,022
その他の資本の構成要素	734	982
親会社の所有者に帰属する持分合計	18,923	23,505
非支配持分	26	23
資本合計	18,948	23,528
負債及び資本合計	184,988	191,022

(2) 要約四半期連結損益計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
営業収益	27,429	31,366
営業費用	21,420	25,705
営業利益	6,009	5,662
持分法による投資利益	6	83
その他の金融収益	58	200
その他の金融費用	25	47
税引前四半期利益	6,048	5,897
法人所得税費用	1,935	1,832
四半期利益	4,112	4,065
四半期利益の所属		
親会社の所有者	4,111	4,061
非支配持分	1	4
四半期利益	4,112	4,065
親会社の所有者に帰属する1株当たり四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益（円）	108.39	105.52
希薄化後1株当たり四半期利益（円）	107.46	105.22

(3) 要約四半期連結包括利益計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
四半期利益	4,112	4,065
その他の包括利益		
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
在外営業活動体の換算差額	△2	△6
持分法によるその他の包括利益	224	272
税引後その他の包括利益	222	266
四半期包括利益	4,335	4,332
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	4,328	4,334
非支配持分	7	△3
四半期包括利益	4,335	4,332

(4) 要約四半期連結持分変動計算書

(単位：百万円)

親会社の所有者に帰属する持分

	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素
					新株予約権
2024年4月1日残高	1,700	1,534	14,626	△3,109	195
四半期包括利益					
四半期利益	－	－	4,111	－	－
その他の包括利益	－	－	－	－	－
四半期包括利益合計	－	－	4,111	－	－
所有者との取引額等					
自己株式の取得	－	－	－	△0	－
配当金	－	－	△1,328	－	－
株式に基づく報酬取引	－	24	－	52	67
所有者との取引額等合計	－	24	△1,328	52	67
2024年12月31日残高	1,700	1,559	17,409	△3,057	262

(単位：百万円)

親会社の所有者に帰属する持分

	その他の資本の構成要素	持分法によるその他の包括利益	在外営業活動体の換算差額	合計	非支配持分	資本合計
2024年4月1日残高	357	7	559	15,310	40	15,351
四半期包括利益						
四半期利益	－	－	－	4,111	1	4,112
その他の包括利益	224	△8	217	217	6	222
四半期包括利益合計	224	△8	217	4,328	7	4,335
所有者との取引額等						
自己株式の取得	－	－	－	△0	－	△0
配当金	－	－	－	△1,328	－	△1,328
株式に基づく報酬取引	－	－	67	144	－	144
所有者との取引額等合計	－	－	67	△1,184	－	△1,184
2024年12月31日残高	582	△1	843	18,455	47	18,502

(単位：百万円)

親会社の所有者に帰属する持分

	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素
					新株予約権
2025年4月1日残高	1,700	1,585	17,949	△3,046	273
四半期包括利益					
四半期利益	－	－	4,061	－	－
その他の包括利益	－	－	－	－	－
四半期包括利益合計	－	－	4,061	－	－
所有者との取引額等					
新株の発行	101	136	－	－	△61
自己株式の処分	－	801	－	963	－
配当金	－	－	△1,815	－	－
株式に基づく報酬取引	－	25	－	61	36
所有者との取引額等合計	101	962	△1,815	1,024	△25
2025年12月31日残高	1,801	2,547	20,196	△2,022	247

(単位：百万円)

親会社の所有者に帰属する持分

	その他の資本の構成要素	合計	非支配持分	資本合計
	持分法によるその他の包括利益	在外営業活動体の換算差額		
2025年4月1日残高	462	0	734	18,923
四半期包括利益				
四半期利益	－	－	4,061	4
その他の包括利益	272	1	273	273
四半期包括利益合計	272	1	273	4,334
所有者との取引額等				
新株の発行	－	－	△61	176
自己株式の処分	－	－	1,764	1,764
配当金	－	－	△1,815	△1,815
株式に基づく報酬取引	－	－	36	122
所有者との取引額等合計	－	－	△25	248
2025年12月31日残高	734	1	982	23,505
			23	23,528

(5) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益	6,048	5,897
減価償却費及び償却費	1,339	1,620
その他の損益	320	621
金融債権の増減額（△は増加）	△10,050	△6,038
金融保証契約の増減額（△は減少）	6,146	△23,086
その他の金融資産の増減額（△は増加）	△920	△1,346
その他の金融負債の増減額（△は減少）	△1,109	△4,402
その他の資産の増減額（△は増加）	△1,792	13,660
その他の負債の増減額（△は減少）	839	602
持分法による投資損益（△は益）	△6	△83
その他	170	△62
小計	985	△12,616
利息の受取額	5	27
利息の支払額	△367	△703
配当金の受取額	58	40
法人所得税の支払額	△2,031	△2,932
法人所得税の還付額	41	2
営業活動によるキャッシュ・フロー	△1,308	△16,181
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券の取得による支出	△0	-
有形固定資産の取得による支出	△400	△537
有形固定資産の売却による収入	1	345
無形資産の取得による支出	△810	△397
貸付金貸付による支出	△198	△125
貸付金回収による収入	32	52
差入保証金の差入による支出	△389	△160
差入保証金の回収による収入	172	169
持分法投資の取得による支出	-	△153
その他	96	4
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,495	△803
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の借入による収入	-	1,500
短期借入金の返済による支出	-	△2,000
長期借入金の借入による収入	10,197	43,494
長期借入金の返済による支出	△8,378	△13,565
リース負債の返済による支出	△743	△792
自己株式の取得による支出	△0	-
自己株式の処分による収入	-	1,764
新株予約権の行使による収入	-	146
配当金の支払額	△1,305	△1,777
その他	18	38
財務活動によるキャッシュ・フロー	△212	28,808
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△3,016	11,824
現金及び現金同等物の期首残高	21,139	17,147
現金及び現金同等物の為替換算による影響	12	20
現金及び現金同等物の四半期末残高	18,135	28,991

(6) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

(1) 報告セグメントに関する全般的情報

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、当社取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、「ファイナンス事業」、「故障保証事業」及び「オートモビリティサービス事業」の3つを報告セグメントとしております。

各報告セグメントの概要は、以下になります。

「ファイナンス事業」は、主にお客様が商品やサービスを購入する際に、分割払いができる金融サービスを提供するクレジット事業及び債権回収サービスから構成されております。

「故障保証事業」は、お客様が当社グループの提携先を通じて自動車を購入し、保証サービスの提供を希望される場合、一定の保証料をお支払いいただくことで、購入された自動車に故障が発生した際、あらかじめ定めた保証の提供範囲内において、無償で修理が受けられる「故障保証」サービスから構成されております。

「オートモビリティサービス事業」は、自動車流通事業を運営するうえで必要とされる複数のサービス（会員制ネットワーク事業、オートリース事業、自動車卸販売、自動車部品の販売及びソフトウェア販売等）の提供を行う「オートモビリティサービス」を中心に構成されております。

当社グループは、当社取締役会が使用する事業セグメントへ、資産及び負債を配分しておりません。

(2) 報告セグメントごとの利益または損失

当社グループのセグメント別の各損益は、基本的に連結財務諸表の作成基礎と同様の方法で作成しております。調整額及び全社は、主にセグメント間の内部取引消去であります。なお、セグメント間の内部取引価格は市場実勢価格に基づいております。

前第3四半期連結累計期間（自 2024年4月1日 至 2024年12月31日）

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額及び全社 (注)	連結
	ファイナンス	故障保証	オートモビリティ サービス	計		
収益						
外部顧客からの収益	15,464	5,169	6,786	27,418	11	27,429
セグメント間収益	311	4	1,465	1,780	△1,780	-
計	15,774	5,173	8,251	29,198	△1,769	27,429
セグメント損益						
営業利益（△損失）	4,335	768	928	6,031	△21	6,009
その他の項目						
金融収益	12,547	-	681	13,228	△257	12,971
（内、金利収益）	1,457	-	681	2,137	△11	2,126
金利費用	117	-	235	352	-	352
減価償却費及び償却費	825	183	300	1,307	32	1,339

当第3四半期連結累計期間（自 2025年4月1日 至 2025年12月31日）

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額及び全社 (注)	連結
	ファイナンス	故障保証	オートモビリティ サービス	計		
収益						
外部顧客からの収益	17,733	5,904	7,577	31,214	152	31,366
セグメント間収益	409	30	1,515	1,955	△1,955	-
計	18,142	5,935	9,092	33,169	△1,803	31,366
セグメント損益						
営業利益（△損失）	3,164	978	1,387	5,529	132	5,662

その他の項目

金融収益	14,551	-	918	15,469	△342	15,127
（内、金利収益）	2,432	-	918	3,350	△10	3,340
金利費用	380	-	361	741	-	741
減価償却費及び償却費	1,139	171	280	1,589	31	1,620

(注) 「調整額及び全社」は、主にセグメント間取引消去であります。

営業利益から税引前四半期利益への調整表

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)		当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)	
	営業利益	6,009	税引前四半期利益	5,662
	持分法による投資利益	6	税引前四半期利益	83
その他の金融収益		58		200
その他の金融費用		25		47
税引前四半期利益		6,048		5,897

(重要な後発事象)

該当事項はありません。